

# 社会系教科教育学会会則

## 第1章 総則

第1条 本会は、社会系教科教育学会と称する。

第2条 本会は、学校教育における児童・生徒の社会的資質形成に関する教育実践の科学的研究を行い、その普及と発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会の事務局は、兵庫教育大学社会系教科教育研究室におく。

## 第2章 事業

第4条 本会は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 研究会の開催。
- 2 機関誌の発行。
- 3 研究成果・研究資料・研究目録などの情報提供。
- 4 その他本会の目的を達成するために必要な事業。

## 第3章 会員

第5条 会員は、本会の目的に賛同し、本会への入会申し込みを行った者によって組織する。

第6条 会員は、本会が営む事業に参加することができる。

第7条 会員は、年額3,500円(ただし、学生会員は、年額2,500円とする)の会費を納入しなければならない。なお、会員は、退会届を提出して退会することができる。また、会費の納入を怠った者は、会員としての資格を失うことがある。

第8条 会員として学会の発展に寄与し、満年齢が65歳以上の会員は、理事会の承認を得て、名誉会員になることができる。なお、名誉会員は会費納入を免除することができる。

## 第4章 組織および運営

第9条 本会は、事業を運営するために次の役員をおく。

- |        |     |
|--------|-----|
| 1 会長   | 1名  |
| 2 代表理事 | 1名  |
| 3 理事   | 若干名 |
| 4 幹事   | 若干名 |
| 5 監査   | 2名  |
| 6 顧問   | 若干名 |

第10条 役員は、次のようにして決定する。

- 1 理事および監査は、会員のうちより選出し、総会において決める。
- 2 会長および代表理事は、理事会において推薦し、総会において承認する。
- 3 幹事は、理事の中から理事会の承認を得て、会長が委嘱する。
- 4 顧問は、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

第11条 役員の任務は、次の通りに定める。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を総括する。会長に事故のあるときは、代表理事がこれに代わる。
- 2 代表理事は、本会の運営を総轄する。
- 3 理事は、理事会を組織し、本会の運営について審議する。
- 4 幹事は、本会の運営における事務的仕事を遂行する。
- 5 監査は、本会の会計を監査する。
- 6 顧問は、会長の諮問に与る。

第12条 各役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第13条 総会は、毎年1回以上開催し、本会の事業及び運営に関する重要な事項を審議決定する。

第14条 本会は、理事会の議を経て、地区別に支部をおくことができる。

#### 第5章 会計

第15条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

#### 第6章 機関誌編集

第17条 機関誌の編集発行は、編集委員をおいてこれを行う。編集委員会についての規定は別にこれを定める。

#### 付則

1 本会則の改正は、総会の決議による。

2 本会則は、平成元年度(1989年)の学会発足日(11月26日)より施行する。

# 社会系教科教育学会倫理規程

2020年2月22日 理事会決定

社会系教科教育学会は、社会系教科教育学の調査・研究、教育および学会の運営にあたって依拠すべき倫理上の基本原則を定め、ここに「社会系教科教育学会倫理規程」を制定する。社会系教科教育学会会員（以下、会員）は、学習者の成長、研究の発展と社会への貢献のために、本規程を十分に理解して、これを遵守しなければならない。

本学会は、上記の主旨に基づき、以下の条項を定める。

## 1 会員の社会的責任

会員は、研究の実施にあたって、社会系教科教育学の発展に寄与しようとする積極的意思をもたなければならない。研究の対象に対して常に敬意を払い、並びに事実の公平・公正な解釈と事実に基づく証明に努めなければならない。

## 2 成果の公表に伴う責任

会員は、研究成果および専門的意見の公表に際して、以下の点に留意し、研究者としての社会的責任を自覚して行わなければならない。

- ・つねに基本的人権に配慮する。
- ・個人のプライバシーや社会的規範を犯す行為をしない。
- ・他人の研究成果を盗用する、データや研究結果等を捏造する、研究活動によって得られたデータや研究結果等を改ざんする、著作権を侵害するような行為をしない。
- ・二重投稿をしない(例えば、一部のデータや事例、学習指導案や授業記録などを追加・変更しただけで、論文のテーマや結論が同じ場合は二重投稿に該当する)。
- ・共同研究の場合には、共同研究者の同意を得るとともに、その権利と責任に十分配慮する。
- ・他の著作物から引用ならびに他の著作物を参照して述べる場合は本文中に必ず明記し、註あるいは引用文献に記載する。

## 3 研究協力者への説明責任

会員は、研究協力者について、研究の目的、方法およびその成果の公表に関して説明責任を負うとともに、研究協力者の人権を尊重し、個人情報などの秘密保持に配慮し、名誉を傷つけることおよび身体的苦痛や心理的苦痛を与えることがあってはならない。

## 4 秘密保持・情報管理責任

会員は、研究活動で得られた情報を厳重かつ適正に管理し、研究等に関する社会的規範の範囲をこえて、こうした情報等を目的以外に使用してはならない。併せて、プライバシーに関する情報については、関連する法規を遵守しなければならない。

## 5 教育と啓発への貢献責任

会員は、自己の専門知識と経験を生かして、将来を担う研究者・教育者の指導・育成に努める。また得られた知的成果の公開に努め、人々の啓発活動に貢献する。

以上

# 社会系社会系教科教育学会 個人情報保護方針

2016年10月8日 理事会決定

社会系教科教育学会は、以下のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報の保護に努めます。

## 1 個人情報に関する法令や規律の遵守

本学会は、個人情報の保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、個人情報を適切に取扱います。

## 2 個人情報の取得

本学会では、本学会の事業の推進のために、個人情報を適法かつ公正な手段によって必要な範囲で取得します。

## 3 個人情報の利用

本学会では、収集した個人情報を収集目的に沿って必要な範囲でのみ利用します。利用目的以外で利用することはありません。

## 4 個人情報の第三者への提供

本学会では、取得した個人情報の第三者への開示・提供は行いません。ただし、以下に掲げる場合は、取得した個人情報を第三者へ開示・提供することがあります。

- 1) 法令の規定に基づくとき
- 2) 提供者の同意があるとき
- 3) 本学会の事業計画を達成するために正当な理由があるとき

## 5 業務の委託

本学会では、必要な業務について外部の業者等に委託を行う場合には、個人情報の漏洩等が行われないように、個人情報の保護水準が十分と考えられる者を選定します。

## 6 個人情報の適正管理

本学会は、収集した個人情報の外部への漏洩、破壊、改ざん又は紛失のないよう適切な管理に努めます。

## 7 個人情報の開示等

本学会は、個人情報の提供者から自己に関する個人情報の開示請求があった場合は、本人であることを確認の上、原則として開示します。また、自己に関する個人情報の訂正の申し出があった場合は、本人であることを確認の上、速やかに訂正を行います。

## 8 個人情報保護の維持・改善

本学会は、個人情報が常に適正に取扱われるよう、個人情報を取扱う役職者に対して継続的に指導・監督を行うとともに、管理システムの継続的な改善に努めます。

## 9 個人情報に関する苦情への対応

本学会は、個人情報に関する苦情について適切かつ迅速に対応します。

# 『社会系教科教育学論叢』 投稿規定

社会系教科教育学論叢編集委員会

本誌は、社会系教科教育学学会の機関誌であり、不定期で発行する。

## I 本誌に投稿できるのは、学会員のみとする。

ただし、編集委員会から依頼された場合はこの限りではない。

## II 投稿原稿は、本学会の目的に寄与するもので、未発表のものに限る。

ただし、口頭発表・プリントの場合にはこの限りではない。

## III 掲載論文の著作権は、社会系教科教育学学会に属するものとする。

## IV 原稿枚数等及び論文の体裁は、次によるものとする。

### 1 用紙

用紙は、B5 判縦置き、横書きとする。

### 2 原稿枚数

原稿枚数(図版、注、文献等含む)は、4に定める1ページ当たり文字数・段組・書体ポイント数に従った上で12ページ以内とし、ページ下中央部にページ番号を印字する。

### 3 表題、所属等

- (1) 原稿第1ページに和文表題、英文表題、その後2行空白行をつかった上で、和文キーワード、英文キーワードを書き、さらにキーワードのあと2行空白行をつかった上で、本文、注記・引用文献の順で書く。
- (2) 論文中(注記・引用文献を含む)に著者本人の著による文献等を表記する際、著者名は、「筆者」、「拙稿」等とせず、著者本人の名で表記する。
- (3) キーワード(和文および英文)は3語以上5語以内とする。

#### 【記載例】

キーワード：社会科教育、地理教育、探究学習

Key Words: Social Studies Education, Geographical Education, Inquiry Learning

- (4) 表題中に、(1)(その1)等の続報論文を想定する旨の表記は行わない。

### 4 文字数等

- (1) 本文、注記・引用文献のページは22字×42行の2段組とする。
- (2) 章の番号は、2行取りローマ数字(I, II…), 節の番号は1行取りアラビア数字(1, 2…), 項は1行取り右片括弧つきアラビア数字(1), 2)…)とする。
- (3) 書体は、明朝体9ポを標準とする。
- (4) 図版原稿がある場合は、刷り上がりをイメージした大きさと位置に挿入する。  
・図版の挿入は、切り貼り又はソフトでペーストする。
- (5) 本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を1こま空け、句点は「.」とし、読点は「,」とする。
- (6) 2桁以上の数字は半角文字、アルファベットは半角を基本とする。
- (7) カタカナは、全角とする。
- (8) 注及び文献は、原則として以下の様式により論文末尾にまとめる。
- (9) 注記および引用文献は、本文中の該当箇所に、(1), (2)…の肩番号をつけ、論文末尾に番号順に記載する。

- (10) 注記は、補足説明とする。また、文献は、本文中で引用・参照されている文献のみ記載する。
- (11) 引用文献の記載方法は、以下の例にしたがうこと。なお、欧文（ローマ字）誌・書名は、イタリックとする。

また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は、カンマ [,] でつなく。

#### 雑誌論文の場合

文献番号 著者名（発行年）論文表題、掲載雑誌名巻（号）、ページ数。

#### 欧文雑誌の場合

文献番号 著者名、（発行年）論文表題、掲載雑誌名、巻（号）、ページ数。

#### 【記載例】

- (2) 吉水裕也（2011）地理的スケール概念を用いたマルチ・スケール地理授業の開発－中学校社会科地理的分野「身近な地域の調査『高知市春野地区』』を題材に－、新地理 59(1), pp.1-15.
- (7) Harada, T. (2012) New Directions for Reconstructing History Education: History Curriculum Which Does Not Teach History. The Journal of Social Studies Education, Vol.1, pp.115-123.

#### 著書の場合

文献番号 著者名（発行年）『書名』 出版社・発行所名、ページ数。

文献番号 著者名（発行年）「論文表題」 編者名編『書名』 出版社・発行所名、ページ数。

#### 欧文著書の場合

文献番号 著者名、（発行年）論文表題、In 編者名（ed(s).), 書名、出版社・発行所名、ページ数。

#### 【記載例】

- (3) 關浩和(2009)『情報読解力形成に関わる社会科授業構成論－構成主義的アプローチの理論と展開－』風間書房, pp.53-68.
- (6) Iwata, K. (2011) Citizenship Education in Social Studies Textbooks and Supplementary Readers in Postwar Japan. In Ikeno, N. (ed.), Citizenship Education in Japan, Continuum, pp.85-94.
- (12) 図、表、写真図版等は、本文中の該当箇所の刷り上がりイメージした位置に、鮮明に識別できる大きさで、以下の様式により挿入する。
- ・図（写真図版を含む）は、図1、図2、…、のように、表は、表1、表2、…のように通し番号つける。図の番号及び見出しは、図の下に記入し、表の番号及び見出しは、表の上に記入する。
  - ・写真図版の印刷は白黒とする。
  - ・図、表中の文字の大きさは、レイアウト原稿中で最小8ポとする。
- (13) 投稿原稿には、文書作成ソフトの機能を活用して、必ずページごとに行番号を添えておくこと。
- (14) 投稿原稿は、必ずメールで送付すること。
- ・送付先は、社会系教科教育学論叢編集委員会事務局とすること。
  - ・メールの見出し（件名）を社会系教科教育学論叢投稿原稿（所属 投稿者名）とすること。
  - ・送付するファイルは、すべて pdf ファイルにすること。
  - ・ファイル名は、投稿者名（所属）.pdf とすること。

#### 5 投稿票および抜き刷り

- ・投稿者は、投稿票をメールに添付して送付すること。
- ・抜き刷りは、50部単位で注文可能である。費用（郵送料を含む）は著者が負担するものとする。

以上

（2021年7月21日制定）

# ○○○○○○○○の研究

－第6学年○○の場合－

・・・・・・・・・・：  
・・・・・・・・

2行あける.

(掲載時は執筆者名と所属が入る)

キーワード：○○, ○○…

Key Words : ○○, ○○…

2行あける.

## I. 問題の所在 最初のみ1行取り (ゴチ)

本文は明朝体を原則とする。読点は、句点は、を用いる。本文に注記をつける場合、および引用文献を示す場合は<sup>(1)</sup>のように両括弧数字を入れる。

表1 ○○○○



(筆者作成)

## II. ○○○○ 2行取り (ゴチ)

1. ○○○○ 1行取り (明朝)

……

1) ○○○○ 1行取り (明朝)

## 【注記・引用文献】

(1)



図1 ○○○○

(筆者作成)

送付日 年 月 日

著者氏名	日本語表記		英語表記	
所属等				
筆頭著者連絡先	e-mail 等※	e-mail :		
		電話 :		
	住所	〒		
論文題目	日本語表記			
	英語表記			
別刷希望部数	不要・要 ( ) 部 (50部単位. 1冊100円. )			
論文投稿時のチェック及び誓約事項	<input type="checkbox"/> 本論文は未発表である. <input type="checkbox"/> 引用文献はすべてリストアップし、適切に引用している. <input type="checkbox"/> 第三者の著作物(画像, 作品等)については、出典を明示して引用として扱っている. <input type="checkbox"/> 肖像権, プライバシーの保護等, 人権保護に必要な配慮がされている. <input type="checkbox"/> 調査対象, 被験者, 協力者等に, 研究に協力することについて合意を得ている. <input type="checkbox"/> データの捏造, 改ざん, 恣意的な削除等をしていない. <input type="checkbox"/> 公表することや, 筆頭著者・共著者等について, 研究に関わった全員の合意を得ている. <input type="checkbox"/> 社会通念上不適切な内容は含まれていない. <input type="checkbox"/> 投稿時点で同時に他の学術誌の査読を受けていない. <input type="checkbox"/> 査読を経て採否に関する決定が通知されるまで, 他の学術誌に投稿しない. 以上の事実と相違なく, また, 以上の条件に異存ないことを認めます. 署名(著者全員)  筆頭著者 _____ 日付 _____  共著者 _____ 日付 _____  共著者 _____ 日付 _____  共著者 _____ 日付 _____			

※ 投稿された後の連絡は, e-mail により行います.

## 社会系教科教育学会役員名簿 (2022年4月1日～2024年3月31日)

### 【会長】

關 浩和 (兵庫大学)

### 【代表理事】

吉水 裕也 (兵庫教育大学)

### 【理事】

石川 照子 (三重大学)	井上 奈穂 (鳴門教育大学)	岩野 清美 (和歌山大学)
宇都宮明子 (島根大学)	馬野 範雄 (関西福祉科学大学)	梅津 正美 (鳴門教育大学)
鴛原 進 (愛媛大学)	岡崎 均 (大阪体育大学)	紙田 路子 (岡山理科大学)
草原 和博 (広島大学)	桑原 敏典 (岡山大学)	小谷恵津子 (玉川大学)
阪上 弘彬 (千葉大学)	中本 和彦 (龍谷大学)	二井 正浩 (成蹊大学)
橋本 康弘 (福井大学)	服部 一秀 (山梨大学)	福田 喜彦 (兵庫教育大学)
松岡 靖 (京都女子大学)	水山 光春 (京都橘大学)	溝口 和宏 (鹿児島大学)
峯 明秀 (大阪教育大学)	峯岸 由治 (関西学院大学)	山内 敏男 (兵庫教育大学)
山田 秀和 (岡山大学)		

### 【幹事】

桑原 敏典 (岡山大学)	阪上 弘彬 (千葉大学)	中本 和彦 (龍谷大学)
福田 喜彦 (兵庫教育大学)	松岡 靖 (京都女子大学)	山内 敏男 (兵庫教育大学)
吉水 裕也 (兵庫教育大学)		

### 【顧問】

岩田 一彦 (兵庫教育大学名誉教授)	米田 豊 (兵庫教育大学名誉教授)
中村 哲 (兵庫教育大学名誉教授)	原田 智仁 (兵庫教育大学名誉教授)

### 【監査】

王子 明紀 (三田市立狭間中学校)	末永 琢也 (三木市立広野小学校)
-------------------	-------------------

### 【学会誌編集委員】

桑原 敏典 (岡山大学)	阪上 弘彬 (千葉大学)	中本 和彦 (龍谷大学)
二井 正浩 (成蹊大学)	福田 喜彦 (兵庫教育大学)	松岡 靖 (京都女子大学)
山内 敏男 (兵庫教育大学)	吉水 裕也 (兵庫教育大学)	

### 【国際交流委員】

紙田 路子 (岡山理科大学)	阪上 弘彬 (千葉大学)	末永 琢也 (三木市立広野小学校)
松岡 靖 (京都女子大学)	山内 敏男 (兵庫教育大学)	

### 【歴代会長】

初代会長	星村 平和 (1989年11月～1996年3月)
第2代会長	岩田 一彦 (1996年4月～2004年3月)
第3代会長	中村 哲 (2004年4月～2012年3月)
第4代会長	原田 智仁 (2012年4月～2014年3月)
第5代会長	米田 豊 (2014年4月～2019年3月)
第6代会長	關 浩和 (2019年4月～現在に至る)

### 【学会名誉会員】 (2023年6月1日現在)

岩田 一彦	中村 哲	森分 孝治	石川 律子	原田 智仁	吉田 正生	米田 豊
池野 範男	金子 邦秀	藤原 孝章	西村 公孝	木村 博一		